

小田頼造 ヨシタ 社會主義運動家。明治十四年六月十一日山口縣生れ、大正七年八月二十日歿（一八八一—一九二八）。筆名小田野聲、芙蓉道人。卒業新報社記者。平民社に入り、社會主義傳道行商に従事。のち伊藤證信の無我愛運動の共鳴、更にトルストイの傾倒。

譯書、レオ・トルストイ著『人生の意義』（河上肇共譯、明治二十九年六月二十日今古堂書店）、同『入道主義』（明治四十年十一月二十日隆文館）、同『簡易聖書』（明治四十二年一月一日金屋文淵堂）等。